



前田 真人さん
(楽善)

傍聴者の声

傍聴者数のべ52人



馬込 武志さん
(美咲野)

自治意識を高く持つことが大切だと思う！

私は、このたび初めて傍聴の機会を得て、参加しました。

国会の議論などは、新聞やテレビなどで取り上げられるのでよく知ることができます。一方、私たちが暮らしている大津町議会についてはどうか？

議員と行政側の質疑応答はもちろん、議事内容は整然と質疑されていましたが、一番関心のあるところは具体的な議論に乏しく、議員の質問に対し執行部は、現状の説明

と、「検討します」に終始するだけの、地方議会によく見られる姿でした。

大津町は、県内でも転入者が多く、発展している町だと思っています。行政には政策実行へのスピード感が求められます。

今回傍聴して感じたことは、地方自治とは、住民・議員・行政が一体となり次世代のために環境を整えることだとの自治意識を高く持つことが大切だと思いました。

質問の内容を理解しやすくする配慮も必要だ

9月18日に一般質問の傍聴をし、2人の議員の質問とそれに対する行政の答えを聞きました。双方とも真剣で好感が持てました。以前傍聴したときには、声が小さくて良くわからないことがありましたが、今回は、よく聞き取れました。

ただ、質問の内容の中に、なぜ今なのかと質問の意味が理解しにくいものがありました。

傍聴させて頂きましてありがとうございます。

議会運営委員会研修報告

8月20日、21日に委員と大塚議長、事務局で長崎県長与町と佐賀県嬉野市の2ヶ所で開催されました。

まず、長与町では、「議会運営全般」と議会活性化の取り組みについて研修しました。人口は4万2000人で、長崎市のベッドタウンとして発展している町です。

議会運営に大きな差異はないものの、相違点は、常任委員会が2年で交代、決算審査で、一般会計はすべて総務常任委員会で行っていることです。議

会活性化委員会は、平成23年9月に設置され、議会基本条例、議員政治倫理条例、議会報告会及び懇談会の実施要綱などが3年間で制定され実施されていることは大変な苦労であったと思われます。

議会のフェースブックも開設され、積極的な情報発信にも努められています。

嬉野市においては、議会議中継システムについて研修を行いました。平成24年9月から録画配信をしており、議場に大型モニターと表決ボタンを導入

広報特別委員会研修報告

7月10日、11日に広報委員5名で、東京都千代田区の砂防会館において行われた全国町村議会議長会主催の全国広報研修会に参加しました。

全国各地から集まった広報委員とともに、一日目は、広報誌作成の技術的な研修として、わかりやすい表現、読ませる広報誌を作るための技術、関心を持つための技術などの写真撮影の考え方など

二日目は、全国から応募した、他の9つの町村議会の広報誌についての工夫されている点などの具体的な講評があり、非常に参考になりました。

今回の研修会には、全国の156議会が参加され、他の町村との交流などもでき、有意義な研修会でした。今後は、より一層、町民に親しまれる

入したことで議員の表情や議案に対する表決内容が一目瞭然となるなど、若い世代にはインターネットの普及が進んでいることから、早急な取り組みが必要であると考えられます。



「議会だより」作成に委員一丸となつてまい進したいと思っています。

